

工業管理技術

教 科	工 業	単位数	2	学科・学年	機械科 3年（選択）
使用教科書	工業管理技術新訂版（実教出版）				
副教材等	担当教員が配布するプリント				

「工業管理技術」はどんな科目？
 企業における経営・管理と、工場における運営・管理に関する知識を身につけ、将来の産業現場において実際に活用する能力と技術について学習します。

「工業管理技術」の学習の特徴は？
 工業管理に関する知識と技術について、以下の5項目の内容を学習します。
 （1）品質管理、（2）工程管理、（3）安全衛生管理、（4）環境管理、（5）人事管理
 学習内容の大半が説明中心の学習になりますが、企業のしくみや各種の工業管理技術の知識・技術などが学べます。

「工業管理技術」で大切なこと（留意点）は？
 ・時代の変化に伴い、これまでの大量生産、大量消費・廃棄の時代から脱却し、有限の資源をいかに有効に利用し持続可能な社会を築き上げていくかを考えながら学習すること。

1. 学習の計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む。）

	月	学 習 内 容 (単元名)	学 習 の ね ら い
1 学 期	4	第1章 職業と産業 1. 職業と勤労 2. 職業の分類 3. 製造業の役割・競争力	・職業の意義やどのような職業があるか、またそれはどのように分類されているかについて学習する。
	5	第2章 企業のしくみ 1. 企業とは 2. 管理組織 3. 管理業務 第3章 工業管理技術の概要 1. 製造業のしくみ 2. 工業管理の仕組	
		第4章 生産管理 1. 生産管理の役割と意義 2. 生産形態 3. 生産計画 4. 工程管理	・生産の流れの概略を、生産のしくみの事例を通して、学習するとともに、各管理技術の概要について学習する。 ・管理サイクルや、生産管理の役割、生産形態、生産計画、工程管理などの目的や内容について学習する。
		中間考査	
	6	第5章 工程分析と作業研究 1. 工程分析と作業研究の役割と意義 2. 工程分析 3. 作業研究 第6章 品質管理 1. 品質管理の意義と目的 2. 品質管理の手法 3. 品質検査 4. 品質保証	・工程分析と作業研究の内容について、工程図記号、ライン編成、方法研究と作業測定、動作研究、標準時間について学習する。
	7	5. 品質管理の意思決定	・品質管理の意義や目的、品質管理の手法、品質検査、品質保証について学習する。
		期末考査	
	8	第7章 安全衛生管理 1. 安全衛生管理の役割と意義 2. 労働災害 3. 安全衛生活動	・安全衛生管理の目的・内容について学習する。

2 学 期	9	4. 安全衛生管理 第8章 環境管理 1. 環境管理の役割と意義 2. 環境問題への 取組み 3. 企業の環境保全への取組み	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理の役割や企業と地域社会の環境問題などの取組みの概要について学習する。 採用から退職までの管理活動について、人事管理の役割、人事政策、人事育成、人事考課について学習する。 企業会計の役割と意義、目的について、財務会計と管理会計、原価管理、財務諸表について、学習する。 各種の工業経営関連法規について学習する。
	10	中間審査	
	11	第9章 人事管理 1. 人事管理の役割と意義 2. 労働契約と労働関連法規 3. 人事政策と人事管理 4. 人材育成 5. 人事考課と処遇 6. 福利厚生	
	12	第10章 企業会計 1. 企業会計の役割と意義 2. 原価管理 3. 財務諸表 期末審査	
3 学 期	1	第11章 工業経営関連法規 1. 法令の体系	
	2	2. 企業経営一般に関する法律	
	3	3. 労働関係に関する法律	
	3	4. 技術と工業振興に関する法律	
	3	5. 環境保全に関する法律	
	3	6. 製造業に関する資格と法令 学年末審査	

2. 評価の観点・方法（及び年間の評定）

○評価は、次の4つの観点から行います。	
関心・意欲・態度	工業管理に関する諸課題について関心をもち、その改善、向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身につけている。
思考・判断・表現	工業管理に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。
技能	工業管理に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、安全や環境に配慮し、ものづくりを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
知識・理解	工業管理に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、現代社会における工業の意義や役割を理解している。
○評価は、具体的には次のものを対象とします。	
評 価 方 法	
<ul style="list-style-type: none"> 定期審査 小テスト、課題テスト、宿題テスト 	
<ul style="list-style-type: none"> 学習への取組状況（授業準備、出欠、発言、課題への取組） 確認プリント、ワークシート、授業ノート等の記述内容 課題提出状況 	

※1年間の評定は、1学期・2学期・3学期の年間を通じて、上記内容を総合的に判断し決定します。

3. 特に強調しておきたい点（留意すべき点・担当者からのメッセージを含む。）

企業のしくみや各種の工業管理技術の知識・技術について身につけよう。